

<株式会社エフエム東京 第 518 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：令和 7 年 5 月 7 日（水）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

ロバート キャンベル委員長（レポート） 佐々木 俊尚 委員（レポート）
松田 紀子 委員長代理 山口 真由 委員
柴崎 友香 委員 福里 真一 委員

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生 代表取締役社長執行役員
内藤 博志 取締役執行役員コンテンツ事業局長
宮野 潤一 執行役員編成制作局長
山領 由紀 編成制作局制作部長
蘭 有紀子 編成制作局編成部長
堀内 宣典 編成制作局制作部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（25 分）
『BABYMETAL のメタラジ!』
2025 年 4 月 5 日（土） 19:30～19:55 放送

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■ 特別番組『Life Time Music～あなたとつくる 55 年目のプレイリスト』

2025 年 4 月 29 日(火・祝)9 時から 20 時まで、半蔵門の TOKYO FM から 11 時間の特別番組『Life Time Music～あなたとつくる 55 年目のプレイリスト』を生放送いたしました。全体を 4 つのパートに分け、平日ワイドパーソナリティをシャッフルして 1 日限りのコンビでお届けしました。

第 1 部 9 時～12 時

出演:住吉美紀(『Blue Ocean』)&LOVE(『ALL-TIME BEST』)

第 2 部 12 時～14 時 55 分

出演:山崎怜奈(『山崎怜奈の誰かに話したかったこと。』)&ハマ・オカモト(『THE TRAD』)

第 3 部 15 時～16 時 50 分

出演:小森隼(こもり校長『SCHOOL OF LOCK!』)&浜崎美保(『Skyrocket Company』)

第 4 部 17 時～20 時 公開生放送(※事前抽選制)

出演:マンボウやしろ(『Skyrocket Company』)&遠山大輔(『JA 全農 COUNTDOWN JAPAN』)

ゲスト:RIP SLYME

番組では、TOKYO FM55 年の歴史を貴重な過去アーカイブ音源や証言で振り返る企画「TOKYO FM クロニクルニュース～音と記憶でたどる 55 年の物語」のオンエアや、リスナーのみなさんから TOKYO FM で出会った大切な 1 曲のリクエストを募集。リクエストには、懐かしの「電話リク」＝電話リクエストも 1 日限りで復活。幅広い世代から多数のリクエストが寄せられました。リクエストやエピソードは番組内でも紹介しながら、放送後には「55 年目のプレイリスト」として Spotify に公開しました。

第 4 部は、事前に抽選で募集した 200 名のリスナーを前に公開生放送。パーソナリティを務めたマンボウやしろと遠山大輔は、過去に『SCHOOL OF LOCK!』で校長・教頭を務めており、同番組がスタートした当初 RIP SLYME がコーナー出演者を務めていたことから、今回 RIP SLYME 再集結発表後、初のメディアの場としてのゲスト出演となりました。

また、当日は TOKYO FM 社屋の正面玄関と 2 階の社屋を開放し、「ありがとうパック」と題し、TOKYO FM オリジナルグッズとスポンサーからの提供品の詰め合わせを先着 1000 名に配布。朝 5 時台から並ぶ方もいるなど、11 時から配布開始予定が早々に

＜第 518 回放送番組審議会議事録＞

終了し、当日追加分を含め 1400 名へ配布を行いました。この日限定のオリジナルグッズの販売は一部グッズが売り切れとなりました。

「#TOKYOFM55」が終日 X でトレンド入りするなど、放送・来場ともに大いに盛り上がる記念特別番組となりました。



▲来場リスナーの列



▲「ありがとうパック」



▲電リク隊



▲第 1 部 LOVE&住吉美紀



▲第 2 部 山崎怜奈&ハマ・オカモト



▲第 3 部 小森隼&浜崎美保

<第 518 回放送番組審議会議事録>



▲第 4 部ゲスト RIP SLYME



▲第 4 部 マンボウやしる&遠山大輔



▲集合写真

議題 2 : 番組視聴

【番組名】

『BABYMETAL のメタラジ!』

2025 年 4 月 5 日 (土) 19:30~19:55 放送

【番組概要】

本日ご視聴いただくのは、毎週土曜 19 時半から放送中のレギュラー番組『BABYMETAL のメタラジ!』の 4 月 5 日 (土) の放送回です。

この番組は、メタルダンスユニットとして「Kawaii Metal」という新しい音楽ジャンルを創出し、圧倒的なパフォーマンスで国際的に注目を集める BABYMETAL 初の冠ラジオ番組として今年 1 月にスタートしました。LIVE ではほぼ MC をしない BABYMETAL のトークは大きな注目を集めています。

番組では、メタル好きなアーティストやクリエイターをマンスリーゲストに招き、“メタ友”(=メタルな友達)と呼び、音楽トークを繰り広げています。これまでに登場したゲストは新しい学校のリーダーズ、マキシマムザホルモン、ONE OK ROCK の Taka など。

ご視聴頂く 4 月 5 日の放送回は、B' z の Tak Matsumoto (松本孝弘) が登場。松本から LIVE に足を運んだという BABYMETAL との出会いや、松本から見た BABYMETAL の音楽性、それぞれの音楽観など音楽トークを 1 ヶ月に渡り、たっぷりと繰り広げました。

【委員の意見および社側説明】

〔○〕 委員意見／〔■〕 社側意見

○普通の若手アーティストならビビってしまいそうなところを、BABYMETAL のメンバーが松本氏に全然緊張していない、また、松本氏がすごく褒めているのに大して喜んでる感じがしないのが、大先輩だからといって持ち上げすぎない気がして、とても良いなと思って聴いた。

○番組のタイトル「メタラジ」が分かりやすくとてもいい。4文字のネーミングというのは上手くいく、と言われていて、覚えやすく口ずさみやすいということがある。メタ友を増やしていく、というのもシンプルで分かりやすく、言葉の使い方がとてもうまいと思った。

○トークと音楽のバランスが良かったのと、トーク自体もとても面白かった。B'z の稲葉氏とミスチル桜井氏が過去に YouTube で対談したのが大きな話題になり、何百万回と再生された。アーティスト同士がお互いのリスペクトを持って話すということと、マニアックな話ができる、例えば、喉のケアの方法やボーカリストならではの非常にマニアックな話をしている、それを彷彿させるようなところもあり、非常に興味深い内容だった。アーティスト同士がそれぞれ敬意を持っているということ、松本氏は喉をそんな気にしているんだということが分かったり、ギターについてや紅白の裏話、稲葉氏との仲など、あまり聴くことのできない貴重な話が聴けた。

○普段 BABYMETAL の音楽を聴かずにラジオのトークを聴くと、アイドル性を強く感じると思う。女の子たちがキャピキャピしているような。あまり彼女たちのメタルを知らずに聴いてしまうと、女の子と話して楽しそうなおじさんという構図になってしまうのではないかもともと彼女らの音楽を知っている人や、ファンと違う聴こえ方になると思う。松本氏が音楽性について言及したり、「ゲスト出演を断る理由が全くなかった」とおっしゃっているところは確かに彼女らの音楽性を証明しているが、彼女たちの音楽性・アーティストとしてはこういう立場を確立している、世界的にファンがいてメタル界でも存在感がある、という前提がない上で聴くと、キャピキャピしたアイドル性の方が強調されてしまうと思う。

○とても楽しく聴かせて頂いた。FM ラジオだと爽やかなポップスがかかることの方が多いが、個人的にはハードな音楽が好きなので、ヘビメタやハードロックがかかる時間があるのはすごくいいと思った。BABYMETAL 自体は以前から知っていてそこまで聴き込んでいたわけではないが、ずっと前から世界で活躍していたのを知っていたので、こんなに若いということに驚いた。しかし、若いながらきちんと経験を積んでいて、ライブ MC では全く話さないということだが、話も聴き取りやすい。まだ始まったばかりの番組なので、ゲストやリスナーとの関係性などはこれからできていくと思うが、メタ友と名付けるなど世界観があっていいと思う。

○3人が揃って「えー」や「わー」と言っているのが、ミニオンズやトトロみたいで独特の癒されるというかホッとする感じがあった。ただ、ハードロックはどうしても男性ミュージシャンの方が多いので、ゲストを迎えた時に、男性の話を「わー」と言いながら聴くアイドルという構図になってしまいがちなので、各メンバー3人の個性や音楽性の話なども聴けたらいいと思う。今もツアーに行っているということだったので、ツアーの話やかい買いアーティストとの交流についてもぜひ聴いてみたい。また逆に、他のアーティストがBABYMETALの音楽を解説する回があってもいいと思う。

○B'zもBABYMETALもそこまで興味を持って聴いてこなかったもので、この番組も無な気持ちで聴いていたが、最初の宇宙的ナレーションやキツネのお告げというフレーズが全く理解できなかつた。その後、YouTubeでBABYMETALのライブを観たらいろいろが理解できて、こういう独創的なアイドルっていいなと思えた。なので、B'zとBABYMETALのファン以外にはあまり響かないかもしれないな、というのが第一印象。

○もったいないなと感じたのは、BABYMETALのメンバーのインタビューの深堀が足りないように感じて、せっかく松本氏がメタル好きの理由や、ギターのリフがどうだと話しているのに「へー、そうなんだ」みたいな反応をしていて、そこで「どういうところが好きなんですか？」ともう一歩突っ込んで聞いて欲しかった。まだ若いからこれからトークの経験も積んでいくと思うが、本当にメタルが好きなのが聴いていたら、この受け答えは物足りなくてストレスに感じてしまうだろうし、深いトークを繰り広げていくことでこんな音楽性があるんだ、と彼女らの評価も上がっていくと思う。アイドルがキャピキャピしている風に聴こえてしまうのが少し残念だったのと、メタ友としてゲスト登場するアーティストにとってもこの番組に出演することがプライオリティになっていくように頑張してほしい。

○個人的にメタルをあまり好まないのにBABYMETALも名前を知っているだけだったが、この番組は非常に面白く、興味深く拝聴した。ラジオの可能性は、比較的小規模なコミュニティ感覚にあると以前から話しているが、この番組は、まさにそうしたファンコミュニティを体現した内容になっていると感じた。音楽のアーティストであれば、アーティストとファンが楽曲だけでつながるのではなく、ラジオを経由することで、より接近してつながることができる。番組を軸にすることで、リアルなライブ空間や物販などさまざまなラインを形成し、楽曲・番組・ライブコンサート・物販・紙媒体などを巻き込んだひとつのスフィア(圏域)を構成し、そのスフィアをラジオ局が支える。これからはそういう構図になっていくという期待もある。

○B'z松本氏は1961年生まれで、BABYMETALのメンバーとは親子以上の年齢差がある。しかし番組でのトークではそうした年齢差は一切感じず、同じ「メタル好き」という共通項によって楽しく会話されており、なんとも気持ちのいいフラット感に非常に好感を持てた。昨今は音楽ジャンルが細分化したことやサブスクの登場によって、音楽体系という概念そのものが希薄になっている。そうした時代だからこそ、アーティスト同士の年齢差を感じさせ

<第 518 回放送番組審議会議事録>

ないフラットな関係があり、楽しいコミュニティが大切だと思う。

■貴重なご意見をありがとうございます。番組作りに活かしていきたい。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「ドライバーズインフォ」

5月31日(土) 5:55~6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>